

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1

## 総合学術高等研究院 造船海洋ルネサンス国際連携センターを開設

国立大学法人横浜国立大学(学長:梅原 出)は、令和8年6月1日「造船海洋ルネサンス国際連携センター」(Shipbuilding & Ocean Renaissance International Center:SORIC)を新規開設しました。

本センターは「造船業の再生」と「海洋への挑戦」という2つの国家課題に対して、船舶海洋工学の基礎分野を中核としつつ、造船・海洋分野における教育研究機能を体系的に強化し、分野横断的かつ国際連携型の拠点を形成することを目的とします。具体的には、造船・海洋分野を「技術」「人材」「制度」「産業」の統合領域として再編し、教育・研究の知の結節点となり、社会実装までを見据えた活動を展開していきます。

## 造船海洋ルネサンス国際連携センター(センター長:満行泰河)

我が国の造船・海洋分野は、脱炭素化、地政学リスク、サプライチェーン再編、デジタル化、海洋利用拡大といった大きな変化の中にあり、単なる技術開発ではなく、産業構造そのものの再設計が求められています。

横浜国立大学は、船舶海洋工学(流体・構造・運動・設計等)の基礎分野において長年にわたり教育研究を蓄積してきました。また近年は、AI・ロボティクス・サイバーセキュリティ・エネルギー工学・経営学・国際関係論等との分野横断的連携を進めています。

本学は神奈川・横浜という海事・港湾・産業集積地に立地し、産官学が近接する環境を活かして技術・制度・産業を統合的に扱う拠点形成が可能となっています。これらの強みを基盤として、本学における造船・海洋分野の教育研究機能を体系的に強化し、全学的な拠点として発展させるため、「造船海洋ルネサンス国際連携センター(Shipbuilding & Ocean Renaissance International Center : SORIC)」を設置しました。

本センターは、船舶海洋工学の基礎分野を中核としつつ、造船業界および国内外の関係機関と連携し、先端技術の研究開発と実践教育を一体的に推進することで、海洋立国日本の未来を支える次世代の船舶・海洋システムと産業基盤の創出を目指します。

造船海洋ルネサンス国際連携センター URL <https://soric.ynu.ac.jp/>横浜国立大学  
造船海洋ルネサンス国際連携センター  
(SORIC)を構成する4つのラボ

## ■ 海事産業戦略・国際連携ラボ

Maritime Strategy &amp; Global Partnerships Lab

海事分野における国際連携を主導し、制度設計・標準化・産業政策の形成を実務的に支援する。技術・企業活動・国際ルールを接続し、日本の造船・海事産業の競争力強化を戦略的に支える。

## ■ 海洋利用・産業創出ラボ

Blue Economy &amp; Ocean Innovation Lab

洋上風力や海洋エネルギー等を対象に、海洋利用の統合設計と実証を推進する。神奈川・横浜を起点に、海洋を基盤とする新たな産業の創出と持続可能な事業モデルの確立を推進する。

## ■ 先端造船技術・人材育成ラボ

Advanced Shipbuilding Technology &amp; Talent Development Lab

船舶海洋工学の基礎分野を中核とし、造船業界と連携して先端技術の研究開発と実践教育を一体的に推進する。学部・大学院教育と社会人リスクリングを接続し、次世代造船人材を育成するエコシステムを構築する。

## ■ 次世代造船DXシステムラボ

Next-Generation Shipbuilding Systems Lab

ロボット・AI・DX・サイバーセキュリティ及びデジタルツイン技術を活用し、造船システムの高度化と自動化を推進する。デジタル技術により製品価値と生産性を飛躍的に向上させるとともに、建造量の拡大とリードタイム短縮を実現し、造船業の競争力強化を図る。

本件に関するお問い合わせ先

横浜国立大学 総合学術高等研究院

ias-ims@ynu.ac.jp (担当:藤井、今西)